

# 令和元年度 地域政策推進事業 取組報告書



北 海 道

地域政策推進事業は、地域の特性を活かした個性的な地域づくりや地域固有の課題への迅速かつ的確な対応など、地域に根ざした政策を進めるため、市町村などと連携しながら、企画・立案から事業実施まで一貫して各振興局が取り組む事業です。

令和元年度に北海道へお寄せいただいた寄附金は、地域政策推進事業の経費に充当しております。

本報告書では、令和元年度に各地域で行った事業をご紹介します。

## ■ 令和元年度地域政策推進事業費計 259,385千円



### ふるさと北海道応援寄附金について

○令和元年度の寄附の状況

**162件 5,879,614円**（個人157件、法人等5件）

※地域政策推進事業あて寄附金額

○なお、皆様からいただいた寄附金は、その使い道と管理の状況を明らかにするために、北海道ふるさと寄附基金条例に基づき、「北海道ふるさと寄附基金」を設置して運用を行っております。

## 空知総合振興局

### ■「空知産業遺産活用促進事業」(地域経済に関連する取組)



平成20年度に策定した「元気そらち！産炭地域活性化戦略」に基づき、炭鉱遺産「炭鉱の記憶」を活用した観光・まちづくりを進めています。令和元年5月には、空知の「石炭」、室蘭の「鉄鋼」、小樽の「港湾」、これらをつなぐ「鉄道」を舞台とした北海道近代化の物語「炭鉄港」が日本遺産に認定されたことを受け、関係地域や民間団体等と広域的な連携のもと、人材育成や普及啓発、情報発信など、交流人口の拡大を図るための様々な取組を行いました。

### ■「集落コミュニティ再生事業」(安全・安心や地域づくりに関連する取組)



農村集落の維持・活性化に向け、集落づくりを主体的に行おうとする住民の誇りと意欲を醸成し、集落のコミュニティの強化と交流などにつながる取組を行っています。

食用ほおずきを用いた農村地域活性化の取組として開発した、食用ほおずきジェラートやお菓子が、地域の試食・交流会で、世代を問わず好評を得られるなど、様々な取組を行いました。

### ■「空知型観光まちづくり推進事業」(地域経済に関連する取組)



国内外からの観光客を呼び込むことのできる魅力的な観光地づくり及び観光情報の発信に取り組んでいます。

サイクルツーリズムに関する情報を一元的に発信するサイトを開設したほか、道外イベントでのプロモーション活動に加え、道外及び海外の現地メディアや旅行会社等への訪問を通じ、空知地域の魅力発信に取り組みました。また、SNSによる旅行情報の収集が盛んな台湾及びタイのインフルエンサーを招へいし、こうした媒体を通じた観光情報の発信を行いました。

### ■「空知地域人材確保・定着推進事業」(地域経済に関連する取組)



空知の経済力を維持し活性化を図るため、新規学卒者の地元就職及び定着率の向上に取り組んでいます。

地元就職を応援するため、高校生や就職指導教員、保護者を対象とした合同企業説明会を開催するとともに、専任の採用担当者を置くことが困難な中小・小規模事業者に対して採用ノウハウを提供するセミナーを開催しました。

## 空知総合振興局

### ■「空知地域食品ブランド化・ワイン産地づくり強化事業」(地域経済に関連する取組)



空知地域の食のブランド化や空知産ワインの産地基盤づくりを推進するため、道内外への知名度向上に取り組むほか、空知産品の高付加価値化を目指し、地域資源を活用した商品の開発などを支援しています。

「空知産ワイン」を産地ブランドとして形成するため、研究機関等と連携して産地特性を把握する調査を行うとともに、札幌市内のホテルで空知の食とワインをPRするイベントなどを開催しました。また、農商工連携により地域産品の高付加価値化を図るため、管内の一次事業者と道内の加工事業者との商談会を開催しました。

### ■「空知農業ベストパフォーマンス発揮推進事業」(地域経済に関連する取組)



空知の基幹産業である「農業」の力をフルに発揮し、空知地域全体の活性化に寄与するために、新技術導入や食育など地域活動への支援、将来の農業を支える人材の育成、空知農業の魅力向上・発信等に取り組んでいます。

ICTを利用した農作業の省力化の実証事業や次世代の食育リーダーとなり得る高校生が行う食育活動への支援、次代の農業経営を担う後継者や新規参入者に対する研修会の開催、「米どころ」空知の魅力発信のためにフェアの開催などを実施しました。

### ■「北海道空知魅力発信事業」(地域経済に関連する取組)



「空知」の活性化と知名度向上を目的に、管内24市町と空知総合振興局が連携する「北海道空知地域創生協議会」を平成28年5月に設立し、様々な課題解決に向けた取組を実施しています。

令和元年度は、「総合的なプロモーション等の実施」、「交流人口の拡大に向けた取組」、「移住・定住促進の取組」の三本を柱とし、首都圏飲食店チェーンと連携したPR「北海道空知フェア」の開催、「そらち応援大使」との連携、スタンプラリーの実施、移住・交流フェアへの参加等の取組を行いました。

## 石狩振興局

### ■ 「いしかり元気な農村ビルドアップ事業」(地域経済に関連する取組)



農村地域の活性化のため、都市近郊型農業である立地を最大限活かした都市住民への農業・農村の魅力発信や、農商工連携・6次産業化を支援する取組を行っています。

都市農村交流で重要な役割を果たす女性農業者向け研修会(ニーズ等に応じ、テーマ別に全8回)や、「農商工連携セミナー・地域交流会 in 恵庭」などを開催しました。

### ■ 「「ようこそいしかり」誘客促進事業」(地域経済に関連する取組)



管内観光資源の掘り起こしなど、誘客に向けた企画・検討に当たって、市町村や有識者等で構成する「誘客促進検討会」を設置し、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。

SNSを活用した管内観光情報の発信や台湾現地プロモーション、ツーリズムEXPOへの参加、パンフレットの作成(日・英・繁)等を実施しました。引き続き、新千歳空港からのアクセスの良さや、都市と自然との共存、豊富な食・観光資源などの石狩の地域特性を活かして、管内の魅力をもPRし、管内の魅力発信に取り組めます。

### ■ 「シェフを活用した石狩ブランドづくり事業」(地域経済に関連する取組)



地域のこだわりの生産物(食材・加工品)を石狩ブランドにつなげるため、平成28年度からシェフ等と生産者(農林水産業関係者)との交流促進に取り組んでいます。

石狩管内の生産現場でシェフと生産者との現地交流事業を実施したほか、札幌市内のレストランで石狩産食材を使用した料理を提供するレストランフェアを開催しました。今後も魅力ある石狩産生産物のPRに取り組めます。

### ■ 「カムバック&ウェルカム・イシカリ事業」(地域経済に関連する取組)



石狩管内では、毎年多くの若者が進学就職などで首都圏に流出していることから、若者の地元定着を促進するため、平成29年度から、市町村や地域おこし協力隊との連携のもと、石狩管内の学生が地域の活性化活動に関わり、石狩地域に対する愛着を醸成する取組を進めています。

北海学園大学と連携し、学生と共にレンタサイクルを活用したサイクリングマップの作製(当別町)やイベントブースの作製(新篠津村)に取り組みました。また、首都圏において管内8市町村やさっぽろ連携中枢都市圏との連携による移住相談会を開催しました。

## 石狩振興局

### ■「石狩地域エゾシカ対策事業」(環境・エネルギーに関連する取組)



札幌市などの人口密集地における安全かつ有効なエゾシカ捕獲方法の検討を行い、市町村駆除等による捕獲数の増加を図っています。

近年、エゾシカによる樹皮はぎ等の被害が顕在化し、食害の拡大や交通事故等が懸念されている、道立自然公園野幌森林公園内のエゾシカ生息状況を調査し、都市近郊におけるエゾシカ個体数削減等の対策方法を関係機関、市、団体と検討しました。また、公園利用者等を対象としたセミナーの開催により対策の必要性について情報発信を行いました。

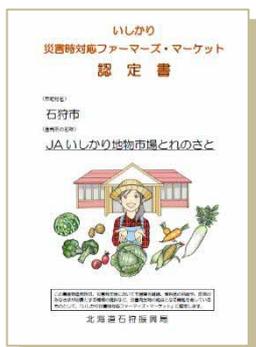
### ■「地域特性を活かした総合的な少子化対策推進事業」(安全・安心や地域づくりに関する取組)



管内の出生率向上に向け、若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりなど少子化対策の取組を進めています。

保育士が結婚・出産後も働き続けられるための方策や自らのライフステージについて考える機会となるよう、保育士養成課程の学生と働き続けている先輩保育士による座談会を実施しました。また、仕事と家庭の両立支援に関し、支援機関によるネットワーク会議(訪問によるヒアリング形式)を開催するほか、HPでのイベント情報の発信などを行いました。

### ■「災害対応型・食の拠点づくり事業」(安全・安心や地域づくりに関連する取組)



平成30年度の北海道東部地震では、道内全域での停電(ブラックアウト)が発生しましたが、そのような状況下でいち早く農産物の食料供給拠点として農産物直売所が再開しました。このため、災害時の食料供給の拠点としての役割を明確にした産地直売所を「いしかり災害時対応ファーマーズ・マーケット」として認定する制度を新たに設け、災害対応型の食の拠点づくりに取り組んでいます。

各種イベントにおいて、本認定制度や第1号に認定された「JAいしかり地物市場とれのさと」のPRを実施しました。

### ■「地域防災力! ステップアップ!! サポート事業」(安全・安心や地域づくりに関連する取組)



近年、巨大地震やゲリラ豪雨の発生などにより、住民避難が必要となる事態が多発していますが、自治体の避難勧告、指示の発表が、住民の適切な避難行動に必ずしも結びついていないことから、防災教育の重要性が増しています。

住民の防災意識を高め、地域防災力の向上を図ることを目的に、千歳市民防災講座において、講師の派遣と参加者への防災啓発を実施しました。

## 石狩振興局

### ■ 「人」と「技」を次世代につなぐ石狩農業プロジェクト事業（地域経済に関連する取組）



石狩農業の将来を見据え、次世代の石狩農業を担う人材の確保と定着を図っていく取組を行っています。

若い世代（学生）向けの就農アプローチセミナー（3日間）や現地バスツアー（2コース、2日間）を実施したほか、農福連携の取組や主婦、高齢者等の農業未経験者に対する農業現場での雇用促進が図られるよう情報発信を行いました。

### ■ 「さっぽろ圏」若者定着促進広域連携事業（地域経済に関する取組）



札幌圏における人口減少問題に適切に対処するため、産官学金労等により構成される推進組織「札幌圏地元定住促進協議会」を平成27年に設立しました。石狩振興局では、全体のコーディネーターとして協議会の事務局を担うとともに、広域展開により効果を発揮する事業を実施しています。

首都圏大学生と石狩管内企業若手職員との交流会など首都圏からの人材還流を促す事業や、中学生による地元企業の見学会など若者の地元定着を促す事業を実施しました。

## 後志総合振興局

### ■「家と人の循環によるまちづくり」（安全・安心や地域づくりに関連する取組）



急速に進行する人口減少や高齢化に対応し、定住人口の増加を図るため、市町村や関係団体と連携し、空き家対策や住宅政策などと連動した取組を実施しました。

道内で唯一の官民連携広域型空き家バンクである「しりべし空き家BANK」の活用促進のため、固定資産税通知へのチラシ封入による登録件数増に向けた取組を実施しました。

### ■「ShiriBeshi 農林水産業確立プロジェクト」（地域経済に関連する取組）



多様で特色のある後志農業のブランド化を図るため、全道一の果樹産地である特性を活かし、全国的にも人気が高まっているシャインマスカットの栽培技術の向上に取り組むとともに、高付加価値化と販売拡大を両立させるためホテルやレストランなどへPR活動を行いました。

また、高校生を対象とした林業への理解を深めるための林業体験イベントの開催や、「後志」産の水産物の消費拡大を図るためのPR・販売促進活動などを実施しました。

### ■「ShiriBeshi 世界へのゲートウェイ化事業」（地域経済に関連する取組）



後志の特産品の管内の消費拡大や道内外への販路拡大、海外市場への販路開拓を図るため、イベント等に合わせた物産販売会や商談会、外国人旅行者向けの試食会等を開催し、観光と一体化したPRを行っています。

ニセコエリアの外国人スタッフ等モニターツアーを実施し、北後志の高品質な特産品や食材を参加者にPRしたほか、商談会や試食会では後志管内の良質な食材を広くPRし、販路拡大を図ることができました。

### ■「北海道新幹線開業等”しりべし”交流拡大推進事業」（地域経済に関連する取組）



北海道新幹線全線の開業に伴う経済効果を後志管内へ広く波及させるため、地域の機運醸成を図るとともに、観光誘客の促進や地域の魅力向上、道南圏等との交通アクセス網の充実・強化に向けた取組を行っています。

北海道新幹線の利用促進のため、仙台市において「くっちゃん21雪ダルマの会」とともに後志の地場産品や観光PR活動などを実施しました。

## 後志総合振興局

### ■「ShiriBeshi 観光のグリーンシーズン誘客事業」(地域経済に関連する取組)



後志地域の特色であるスポーツツーリズムや後志の文化・教育などグリーンシーズンの多様なコンテンツを活用した、魅力ある観光地づくりをすすめ、観光誘客につなげています。

直行便が就航したフィンランドから招へいたインフルエンサーによるWEB・SNSでの情報発信や、台湾やフィリピンでのプロモーションを実施し、後志の魅力を伝えました。また、関西の高校に後志の教育旅行のモデルルートやコンテンツを紹介し、教育旅行誘致をすすめるなどの取組を行いました。

### ■「道央・道南地域広域観光推進事業」(地域経済に関連する取組)



道央・道南地域の広域観光を推進するため、後志・胆振・日高・檜山・渡島の5振興局で連携して受入体制の整備を行い、魅力ある観光情報を発信する広域的な観光プロモーションを行っています。

函館で開催された「黒船」、大阪で開催された「ツーリズムEXPO」へ出展し道央・道南地域の魅力PRを実施しました。

### ■「Shiribeshi グローバルワークプレイス推進事業」(地域経済に関連する取組)



後志管内で生じている顕著な人手不足の改善を図るため、道内外や海外から多様な人材を発掘・確保し、就業・起業を促進しながら、彼らが活力を持って働く場所(グローバル・ワーク・プレイス)を構築しています。

UIターンフェアや転職イベントなどに出展し、後志管外・北海道外の方々向けに、後志地域のPRと個別相談を実施しました。

### ■「しりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプラン推進事業」(地域経済に関連する取組)



後志管内の人口増加による地域活性化を図るため、冬季のリゾート地域の豊富な労働力を夏季の農業等の人手不足分野に結びつけ、「移住」人口の拡大を図るとともに、移住者へのしごと・住まい等に関する総合的な支援体制を整備することにより、「通年雇用化」等による「定住」を促進しています。

後志管内の市町村と連携し「北海道へ本気の移住相談会」をはじめとする移住・定住推進イベントに出展し、後志地域の魅力を発信しました。

## 後志総合振興局

### ■「ShiriBeshi グローバル人材育成プラン」(地域経済に関連する取組)

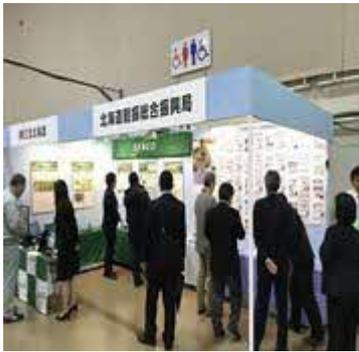


外国人観光客にも対応でき、日本や地域のことを伝えることができる、地域と世界の架け橋となる「グローバル人材」を地域で育て、中長期的に確保していくことを目指しています。

地元の中高生に地域の魅力を外国人に英語で伝える機会をつくる「プレゼン事業」や、地元の子どもたちの英語に触れる機会を増やす「グローバルサポーター派遣事業」、都市部の若者らに管内の外資系企業等でのインターンシップや地域交流のプログラムを企画する「ShiriBeshi 留学」を実施しました。これらの取組により、グローバル人材育成の拠点化によるU I ターン人材を増やしていきます。

## 胆振総合振興局

### ■「胆振ものづくり産業・林業活性化推進事業」(地域経済に関連する取組)



胆振地域は、優れた技術や製品を持つ「ものづくり企業」が集積しており、こうした企業PRのほか次世代を担う人材の確保などに取り組んでいます。

ビジネス展示会へ出展し、管内企業の技術力や製品のPRを実施したほか、高校生を対象としたものづくり企業の見学会や林業担い手育成・確保に向けた林業体験バスツアーを実施するなど、地元企業のPRや担い手の育成に取り組んでいます。

### ■「いぶりの「食ブランド」レベルアップ事業」(地域経済に関連する取組)



胆振管内の食の魅力を上向きさせ、地域住民はもとより道内・道外への情報発信を強化するため、生産基盤の維持強化や食の磨き上げ並びに魅力発信に関する事業を実施しています。

札幌市や首都圏において、いぶりの魚や野菜などの食材を活用した料理や加工食品の販売を行ったほか、地域住民向けに「いぶりのお魚クッキングスクール」を開催しました。また、「いぶりでしか食べられない食やレストラン」を紹介する冊子を作成し、胆振の食を広くアピールする取組を行いました。

### ■「「いぶり・6次観光」促進・情報発信事業」(地域経済に関連する事業)



胆振が有する「豊富な食材」「産業観光」「胆振四大遺産(洞爺湖有珠山ジオパーク、縄文遺跡群、アイヌ文化、むかわ竜)」等の多種多様な魅力を活用し、国内外からの誘客の促進や交流人口の拡大を推進しています。

胆振地域の魅力を発信するため、地域と連携して胆振の観光素材の商品化・ビジネス化に取り組みました。また、道内外へのプロモーションを実施して胆振地域の魅力をPRしました。

### ■「胆振四大遺産等地域資源活用事業」(地域経済に関連する取組)



世界的な価値を有する胆振四大遺産(「洞爺湖有珠山ジオパーク」・「縄文遺跡群」・「アイヌ文化」・「むかわ竜」)を核に、胆振管内の多様な魅力を総合発信することで、住民の誇りの形成を通じた地域活性化を促すとともに、国内外からの誘客促進や交流人口の拡大を推進しています。

胆振四大遺産の魅力を発信するため、国内外の観光客にPRイベントを開催したほか、西胆振ピリカノカを巡る洋上モニターツアーを行いました。

## 胆振総合振興局

### ■「宮蘭航路利用促進事業」(地域経済に関連する取組)



平成30年6月に就航した室蘭市～岩手県宮古市を結ぶフェリー航路の就航を契機に、室蘭市や岩手県沿岸広域振興局と連携し、フェリーの利用促進や交流人口の拡大に向けた取組を行っています。

ラグビーワールドカップ開催に合わせ、岩手県釜石市で行われた「さんりく物産館」、室蘭市の「むろらん港まつり」など、両地域において、連携して互いの地域のプロモーションを行いました。

### ■「象徴空間・縄文遺跡群PR事業」(地域経済に関連する取組)



白老町ポルト湖畔に整備される民族共生象徴空間ウポポイのオープンや縄文遺跡群の世界文化遺産への登録に向け、アイヌ文化・縄文文化を広く情報発信することにより、胆振地域への来訪を促進し、交流人口の拡大を進めています。

また、ウポポイの100万人の達成に向けた誘致と、来場者の管内全域への波及を促進するため、多様な関係者が相互に情報共有及び意見交換を行うことができる場として、いぶりウポポイ活用促進プラットフォームを開催しました。

### ■「住みたい・訪れたい「いぶり」地域連携事業」(地域経済に関する取組)



胆振地域への移住・定住の促進及び交流人口の拡大を図るため、世界的な価値を有する胆振四大遺産の魅力や、移住政策の発信を通じ、地域創生に向けた取組を推進しています。

胆振の地域資源「胆振四大遺産」のPRイベントや、首都圏で地方への移住を検討している方々に、管内市町と連携し「いぶり暮らしセミナー」を開催するなど、胆振地域への移住につながる取組や関係人口の拡大に向けた取組を行いました。

## 日高振興局

### ■「日高地域コンブ生産安定対策事業」(地域経済に関連する取組)



日高管内の基幹漁業であるコンブ漁業は、厳しい漁業環境により、着業者の減少と高齢化が進行するとともに、生産量が年々減少しているため、新たな漁業生産体制の整備や漁場環境の適切な把握など、総合的な対策を進め、コンブ漁業の生産安定を図っています。

生産増大実証試験を実施しているモデル地区において、未・低利用漁場における雑海藻駆除試験の追跡調査を実施しました。

### ■「ひだか戦略総合情報発信事業」(地域経済に関連する取組)



日高管内の交流人口の増加につなげるため、地域の魅力を体感できる観光プログラムの開発、日高管内の魅力発信に取り組んでいます。

観光ホームページ「北海道ひだか観光ナビ」で、管内の観光施設、飲食施設、宿泊施設等の情報や管内で行われるイベント情報などの発信を行ったほか、道庁赤れんが庁舎前庭で日高の「春ウニ」大即売会&日高特産市を実施し、日高管内の魅力を発信しました。また、地域資源である馬文化認知度向上のため、馬文化出前教室やひだか馬の絵コンテストを実施しました。

### ■「馬産地対策・観光推進事業」(地域経済に関する取組)



全国のサラブレッドの約8割を生産する日本最大の馬産地である特色を活かし、乗馬体験や美しい牧場風景など、地域の魅力発信を行っています。

門別競馬場での「ひだか観光プロモーション(特産市)」や、札幌競馬場での「ひだかフェア」を開催し、地域の観光情報の発信や特産品販売などを行い、札幌圏をはじめとした多くの来場者に日高地域の魅力をPRしました。

### ■「農林業被害低減のための鳥獣被害対策事業」(地域経済に関連する取組)



日高管内のエゾシカによる農林業被害額は減少傾向にあるものの、生息数等は未だ高い水準にあるため、数の低減を図ることが必要です。しかし、軽種馬生産が盛んな日高管内においては、銃による捕獲が困難な地域が多いことなどから、わなによる捕獲を促進し、エゾシカ个体数の減少と農林業被害の低減を図るための「くくりわな捕獲技術講習会」を開催しました。

また、ヒグマ対策として、デントコーン畑に侵入したヒグマの追い出し手法の普及も行いました。

## 日高振興局

### ■「日高軽種馬産地活性化推進事業」(地域経済に関連する取組)



「全国で唯一の馬産地」といった日高地域の強みを活かし、軽種馬生産の構造改革や馬関連産業の育成、新規就農者の育成・確保に取り組んでいます。

各町及び農協が構成員となる軽種馬生産構造改革推進会議や各種会議・訪問により地域の意見を集約し、馬産地中央要請活動を行った結果、競走馬生産振興事業が前年並みの予算が確保(約13.2億円)されたほか、競走馬生産振興事業における対象要件の緩和が図られました。また、新規就農者確保のため道内外で各種PRを実施しました。

### ■「日高アイヌ文化魅力発掘事業」(安全・安心や地域づくりに関連する取組)



アイヌ文化の魅力の再発掘・再発信に取り組み、「北海道・日高アイヌ文化」を軸とした地域づくりと交流人口増加を目指しています。

関係者等による「共生のふるさと・日高国ワークショップ(検討会)」の開催や、昨年行った道外旅行者へのプレゼンにより実現したアイヌ文化ツーリズムを実施したほか、日高アイヌ文化振興シンポジウムを開催しました。

### ■「日高食関連産業振興事業」(地域経済に関する取組)



日高管内の豊かな食資源を活かした商品開発・磨き上げを促進する相談会等の開催により、日高の食資源の高付加価値化を図るとともに、販路拡大に向けた道内外バイヤー等の現地視察や、ひだか産品の効果的なプロモーション活動を行う事により、ひだか産品の認知度向上や販路開拓につなげ、地域の食関連産業の活性化を図っています。

プロモーションとしては、札幌市内では「ひだかフェア in どさんこプラザ札幌店」、東京都内では飲食店グループと連携し全国48店舗で「ひだか春のシーズンメニュー」を展開し、認知度向上を図りました。

### ■「建設業就業促進支援事業」(地域経済に関連する取組)



毎年、管内の高校を卒業し、企業等に就職した生徒のうち80人前後が管外に就職し、進学等も含めると毎年300人以上の生徒が管外に転出している状況にあるため、人手不足問題を抱えている管内関係団体と連携を図り、その業界の仕事を知ってもらい、地元就業を促進する取組を行っています。

日高建設協会・プログレス日高との共催により「建設産業体験フェア」を新ひだか町のイオン静内店駐車場で開催し、約400名に参加いただきました。

## 日高振興局

### ■「オールひだか魅力発信推進事業」(地域経済に関する取組)



平成30年度の高規格幹線道路日高自動車道・日高厚賀IC開通を契機とし、管内各町・観光協会と連携し、地域の魅力発信と誘客促進に向けて取り組んでいます。

札幌地下歩行空間(チカホ)で開催した「オールひだか魅力いっぱい!観光物産展」では、日高管内各町の特産品の販売やステージイベント等を通し、まだ知られていない魅力あふれる地域の食や観光資源をPRしました。

## 渡島総合振興局

### ■ 『『北の縄文』 魅力発信・ファン拡大推進事業』 (その他)



世界遺産登録を目指す縄文文化遺産について、地域住民に対し、理解促進やファン拡大を図る取組を行っています。

令和2年2月には、ユネスコへ世界文化遺産の推薦もされており、世界遺産登録に向けた地域の更なる機運の醸成を図るため、縄文PRパネル展や地元の高校や幼稚園等関係者及び地域住民や関係者を対象とした官民連携のPRトークショーを開催しました。

### ■ 「道南地域食振興ネクストステージ事業」 (地域経済に関連する取組)



道南地域の食の魅力の更なる向上とブランド力の強化を図るため、独自性優位性のある一次産品と二次・三次産業の連携による、新たな食の魅力を創造するとともに、道南地域産品の販路拡大に向けた取組と、道南地域のワイン産地化に向けた取組を実施しています。

世界料理学会 inHAKODATE と連携した食材見本市、百貨店バイヤーや専門家を集めての相談商談会「道南食のブランドフェア」の開催、パティシエによる製菓現地指導の実施や、道南のワイナリーや新規参入希望者を対象とした道南ワインアカデミーを開催しました。

### ■ 「北海道新幹線開業による観光地域づくり推進強化事業」 (地域経済に関連する取組)



北海道新幹線開業効果を地域において最大限享受するため、道南を初めて訪れた方々がリピーターとなっていただけるよう「観光地域づくりに向けた人材育成」「教育旅行誘致に向けた取組」「青函広域観光エリアの情報発信」を柱として、広域観光の取組を進めています。

教育旅行受入環境整備に向けた人材育成のための研修や、「ツーリズムEXPOジャパン」等の商談会への参加、JR重点販売地域指定による青函地域の観光プロモーションを行いました。

### ■ 「渡島スマートアグリ構想推進事業」 (地域経済に関連する取組)



人口減少に対応した農業スタイルを確立するため、地域農業の効率化・高度化の検討を進めています。

ビニールハウスの省力化技術である「自動かん水装置」、トラクター等の農業機械に設置できる「GPSガイダンスシステム」、酪農経営における「搾乳ロボット」の実証試験を実施しました。さらに平成27年度から令和元年度までに実施した実証試験についてまとめた「渡島管内におけるスマート農業技術の導入事例集」を作成し、管内のみならず、道内農業関係者に配布・周知を行いました。

## 渡島総合振興局

### ■「農と浜のコンパクトツーリズム促進事業」(地域経済に関連する取組)



北海道新幹線の開業により増加が見込まれる観光客を対象に、短時間での移動が可能な管内の特性を活かした体験観光や施設情報を発信し、周辺農・漁村部への入り込みを各団体と協力し推進しています。

教育旅行に興味のある生産者の掘り起こしや農協等の関係機関への情報提供、先進地である後志地域への視察を行い、令和元年度は教育旅行を3校受け入れました。(受入生産者：延べ70軒)

### ■「みんなですすめる木づかいプロジェクト！」(地域経済に関する取組)



地域材である道南スギの認知度向上と需要拡大を目的とし、地元の建築家やデザイナー等異業種と連携した「木づかいプロジェクト検討委員会」を中心に、学生等と連携して林業・木材産業への就業促進と地域材の普及PR活動を行っています。

函館市内のアパートメントを学生向けに新築するにあたり、全国の大学生が集まり、道産スギを学びながら、林業・木材産業への理解を深め、基本構想の提案を行う、コンセプトワーク合宿を実施しました。学生のアイデアを反映しつつ、実現に向け進められています。

### ■「就業・定住促進対策推進事業」(地域経済に関連する取組)



渡島地域の農林水産業への就業及び定住を推進するため、管内市町と連携を図りながら就業情報や生活情報を一元化し、振興局のウェブサイトで広く発信するとともに、移住イベント等への出展等により、就業者を呼び入れ、産業の振興と人口減少問題への対策を図っています。

札幌市内で開催された就農フェア等で「おしまぐらし」のPR活動を実施したほか、管内市町と連携し、首都圏で開催された移住イベントに出展しました。

### ■「ブリの消費拡大推進事業」(地域経済に関連する取組)



渡島管内で漁獲量が増加しているブリですが、まだまだ馴染みが薄く、道内での消費量は全国に比べて低迷しています。平成30年に、生産者や行政などで構成する「はこだて・ブリ消費拡大推進協議会」を設置して、ブリのPRや新製品の開発に取り組んでいます。

ブリ料理教室の開催や教育機関と連携した新商品の開発を行ったほか、札幌中央卸売市場でのフェアでは、1000人以上の来場者にブリフライを振る舞い、好評を博しました。

## 渡島総合振興局

### ■「おしま交流人口拡大促進事業(インバウンド)」(地域経済に関連する取組)



インバウンドの受入に関して、課題を抱えている観光関連施設等にアドバイザーを派遣し、希望するテーマについて集中的なアドバイスを受けていただく機会を設けています。

ホテルや売店、観光施設に対し、施設の案内表記や販売する商品名などを英語表記化するとともに、海外の方でもわかりやすい表現となるようアドバイスをを行い、インバウンドの受入環境改善に取り組みました。

### ■「おしま交流人口拡大促進事業(スポーツ合宿)」(地域経済に関連する取組)



北海道新幹線開業による更なる交流人口の拡大を目的に、市町等の広域的な連携によるスポーツ合宿受入体制の構築支援を行っています。

振興局が誘致活動を支援している渡島西部4町スポーツ合宿誘致協議会(松前町、福島町、知内町、木古内町)では、8月に4町が連携して高校野球合宿の受入れを行い、合宿参加者のニーズに合わせたサービスの提供や実施体制の課題解決に向けた取組を進めています。

## 檜山振興局

### ■「檜山地域における新幹線観光対策事業」(地域経済に関連する取組)



北海道新幹線開業を生かし、檜山地域への観光客の流入促進及び経済波及効果を楽しむことができるようにするなど、檜山地域の食の磨き上げ、販路拡大及び観光振興に取り組んでいます。

道内外の方々に広く檜山の魅力を知っていただくことを目的に観光情報WEBサイトへの記事掲載や、旅行企画会社を招へいたしたファムトリップを行い管内のPRを実施しました。また、台湾からの観光客の誘客を目的に、台北市で行われた国際旅行博へ出展し、檜山の魅力をPRしました。

### ■「檜山農業生産力底上げ・人づくり推進事業」(地域経済に関連する取組)



既存の高収益作物の生産性向上や新たな作物導入等により生産力の底上げを図るとともに、担い手の育成や新規就農支援の仕組みづくりに取り組んでいます。

春まき小麦「春よ恋」の低収要因について、生育及び収量等の実態調査を行うとともに、要因や対策について、関係機関と連携して報告書を取りまとめました。また、女性が活躍する農村社会を目指して女性農業者のネットワークづくりを支援し、12月には「農村女性フォーラム」を開催しました。

### ■「みんなで学棒(まなぼう) 檜山の木利用促進事業」(地域経済に関連する取組)



道南地域特有の「スギ」の利用を道内に広く波及させるため、需要拡大に向けた検討や地材地消の推進に取り組んでいます。

PRイベントとして、町の産業まつりと連携して道南スギのイスづくりを実施しました。また、地元の高校と連携し、生徒が考案した「木のおもちゃ」を保育園実習で活用する「地材地消講座」や、商業施設と連携し、スマホスピーカーを製作する「木工体験講座」を実施しました。

### ■「輝け地域おこし協力隊！交流連携プロジェクト事業」(地域経済に関連する取組)



交流人口の拡大を目的として、地域おこし協力隊等への支援と「津軽海峡交流圏」の連携促進事業に取り組んでいます。

地域おこし協力隊研修会を開催し、隊員等の地域力向上を図るとともに、移住者向けの檜山管内ガイドブックを作成したほか、青森県佐井村との共催で管内の地域おこし団体による渡島・下北・津軽の三半島の郷土芸能祭を開催しました。

## 檜山振興局

### ■檜山の水産物付加価値向上対策事業（地域経済に関連する取組）



檜山管内産水産物の高付加価値化に向けて、漁業者や加工流通業者等の関係者と連携して取り組み、漁業者の所得向上と地域経済の活性化を目指しています。

ナマコ製品等について、イベントなどでPR活動を行い、商品等に対する認知度の向上と水産物の販路開拓を進めました。また、神経締めなどの高度な鮮度保持技術による魚価の向上を目指し、魚類の鮮度保持技術講習会を実施しました。

### ■「海・山・川！！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業」（地域経済に関連する取組）



障がいのある方や高齢の方などが管内の観光を満喫できるよう、管内各町と連携し、宿泊・飲食施設、移動手段などの観光資源のバリアフリー化や人材育成・普及啓発を進めるなど地域の意識醸成を図ることで、全ての人に優しいまちづくりの実現に向けて、取組を進めています。

安心して「ひやま」の観光を満喫できるよう、管内のバリアフリー情報を掲載した小冊子やマップを作成し、道内外のイベントでPRするほか、道の駅などに配布しました。

## 上川総合振興局

### ■「道北地域交流人口拡大推進事業」(地域経済に関連する取組)



交流人口の拡大により道北地域の地域振興を図るため、上川北部においては天塩川、中部においては大雪山をテーマに地域の魅力を発信するとともに、貴重で豊かな自然環境を保全する取組を展開しています。

天塩川周辺の地域振興や交流人口の増加を図ることを目的として、「天塩川」や地域に所縁のある歴史偉人「松浦武四郎」をテーマとしたフォーラムを開催しました。また、自然観察会を開催するなど大雪山周辺の魅力発信や環境保全に対する意識の醸成を図りました。

### ■「食」や「食文化」を観光資源とするフードツーリズム推進事業」(地域経済に関連する取組)



上川総合振興局では、「食」や「食文化」の力を活用し誘客を図る「フードツーリズム」の推進に取り組んでいます。

その一環として、魅力ある地域の食品を「食べものがたり」として、訪れて楽しめるレストラン等を「フードツーリズム」として、ウェブや各種イベントなどを通じて紹介しています。

また、食と観光に携わる皆さまを対象としたワークショップを開催し、食資源を活かした新たな観光地づくりや、異業種交流による新たな事業づくりを進めています。

### ■「持続可能型上川農業確立推進事業」(地域経済に関連する取組)



今後の人口減少に対応した持続可能な農業を確立するため、ビニールハウスによる施設園芸へのICTを活用した省力化技術導入や、水稻の低コスト栽培技術の確立、収益性の高い新規作物の導入検討など、さらなる省力化・高収益化に向けた取組を推進しています。

トマト栽培に係る施設園芸省力化導入モデルの構築に係る技術実証や、ICTを活用した省力化・高収益化に取り組む事例の調査等を行いました。

### ■「地域森林資源利用推進プロジェクト事業」(環境・エネルギーに関連する取組)



林地未利用材を有効活用した木質バイオマスのエネルギー利用促進や道産材家具の利用を拡大することにより、地域資源管理体制を構築し、山村地域の活性化を図っています。

上川地域における林地未利用材の安定供給やエネルギー利用拡大に向けた取組内容をまとめ、情報発信を行ったほか、広葉樹資源の育成と利用に向けて、天然林整備を担う林業事業者等の知識と技術の向上を図る研修会等を実施しました。

## 上川総合振興局

### ■「かみかわ地域産業担い手対策事業」（地域経済に関する取組）



地域を支える産業（農業・林業・商工業）の担い手・後継者を確保・育成するため、産業別の課題に応じた取組を進めるとともに、道外に向けて上川地域の魅力をPRしています。

東京都内で移住セミナーを実施し移住情報の発信に取り組んだほか、農業研修生が先進的な取組を学ぶための視察研修や旭川農業高校の1年生を対象に林業機械の実演見学等を行う林業学習会、管内関係機関と連携して事業承継につながるセミナー等を実施しました。

### ■「スポーツ合宿ブランド化等推進事業」（地域経済に関連する取組）



東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、スポーツ合宿誘致に係る機運の高まりなどスポーツへの注目が集まっていることから、スポーツを通じた地域の活性化の推進に取り組んでいます。

管内のスポーツ合宿情報の発信や更なるスポーツへの理解の普及啓発のほか、スポーツ活動に取り組む人たちの視野を広げ、地域活性化を図ることを目的に、地域住民を対象に元オリンピックランナーを講師に招いたイベントや関係市町村と連携した講演会などを開催しました。

### ■「かみかわ地域連携創出事業」（地域経済に関連する取組）



広域的な人的ネットワークづくり等を目的に意見や情報の交換ができる場を設置することで、上川地域の持続的な発展と、それを支える人材の育成を図る取組をしています。

地域のブランディングに関するワークショップや地域への理解を深めて郷土愛を醸成することを目的としてジオパークをテーマとしたセミナーを開催し、広域的な人的ネットワークづくりを進めました。

### ■「未来づくり感響プロジェクト事業」（地域経済に関連する取組）



豊富な森林資源を背景に発展してきた旭川家具の将来の担い手確保や需要促進を図るため、旭川家具の生産や木材加工等に携わる幅広い関係者が連携し中学・高校等で活用できる学習ツールを検討・制作、トライアル授業の実施を通して検証・改良を行い、普及を図る取組を行っています。

地場産業である旭川家具の材料のルーツである森林から製造・販売までを理解することのできる学習プログラムを作成し、学校での体験授業を実施しました。

## 上川総合振興局

### ■「上川産森林認証材の利用促進事業」（環境・エネルギーに関連する取組）



上川管内市町村、森林組合、一部製材工場等からなる上川森林認証協議会と連携し、SGEC-CoC 認証の取得促進、一般消費者の森林認証制度の普及、公共施設への認証材の活用促進、道有林における提案型協定販売の検討を行い、上川産森林認証材の利用促進を図っています。

森林認証制度に関する展示会の実施、管内市町村へ公共建築物への認証材活用に向けて情報提供を行ったほか、管内事業者の SGEC-CoC 認証の取得促進のため、外部から講師を招いて、勉強会を開催しました。

### ■「おいでよ！天空の園・松山湿原の森プロジェクト」（地域経済に関連する取組）



日本最北の高層湿原であり、環境省が選定する「日本の重要湿地 500」の一つである松山湿原の散策路等を整備し、観光資源としての魅力強化を図るとともに、生物多様性教育に資する施設としての利用価値の向上を図る取組を行っています。

湿原を訪れた方々に対して安全かつ適切な案内が図られるよう登山道入口案内板等の設置や小学生を対象とした松山湿原ガイドツアーを開催しました。

### ■「大雪の魅力発信事業」（地域経済に関連する取組）



大雪カムイミインタラDMOの設立やインバウンドの増加、「カムイと共に生きる上川アイヌ」の日本遺産の認定など、「大雪山」を活用した産業振興の機運が高まりを見せており、これらの観光資源を活用した域内への経済波及効果の高い観光地づくりを推進しています。

近年増えつつあるサイクリング観光客の受入態勢の整備に向けたフォーラムの開催、魅力発信拠点の設置による上川を代表する自然や食、文化といった魅力発信や、DMOや関係団体との連携による大雪山ブランドを活用した産業振興の取組を実施しました。

## 留萌振興局

### ■「るもいの豊かな海と森を育む事業」(環境・エネルギーに関連する取組)



留萌管内の豊かな水産資源や森林資源を持続的に有効活用し、地域の産業振興や雇用確保を図るため、関係機関と行政が連携し、海と山が一体となった取組や新たな販路拡大の仕組みづくりなどを行っています。

天売島で森と海的环境教育を実施し、島内の木材を有効活用するため木製品の試作を行ったほか、留萌産トドマツ材の利用拡大に向けた地材地消パネル展の開催、ペレットストーブの燃焼展示や貸出、木工体験などを実施しました。

### ■「留萌健康産業展開促進事業」(地域経済に関連する取組)



「食と健康」を基盤に、留萌地域の特性を活かした健康産業の展開と確立を図るため、地域資源の活用や地域住民等の連携による各種プロジェクトを進めています。

健康づくり関連団体との連携による健康サービスの啓発として、「認知症フォーラム」を開催し、地域住民の健康意識の向上と地産地消を促す「るもい健康スムージー」のPR活動に取り組んだほか、健康経営の普及啓発による管内事業者の企業価値向上を促す、「健康経営セミナー」の開催等に取り組みました。

### ■「るもい産業担い手支援モデル事業」(地域経済に関連する取組)



就農希望者への情報発信、地域一体となった担い手の育成・確保の推進、地域おこし協力隊に関する活動支援を行っています。

各産業における人手不足に対応するため、「留萌地域の労働力の融通に関する連絡会議」を設立し、試行的マッチング事業を実施しました。商工分野においては、専門家派遣や商談会出展等、既存商品の販路拡大、新商品開発などに対し、多岐にわたる支援に取り組みました。

### ■「るもい”農”フル活用推進事業」(地域経済に関連する取組)



留萌地域は、生産者の努力により高い評価を受けている米の生産を中心に、小麦などの畑作や果樹、野菜、酪農といった様々な農業が地域を支える基幹産業となっており、この特徴を最大限発揮するため、水田のフル活用や南るもいエリアのみで生産されている pasta 適性の高い硬質小麦「ルルロツソ」の産地化を推進しています

水稲の低コスト栽培技術の確立や転作作物(小麦・大豆など)の品質向上のための実証試験を行ったほか、物産展に出展し「ルルロツソ」を広くPRしました。

## 留萌振興局

### ■「るもい地域戦略的魅力創造発信事業」（地域経済に関連する取組）



留萌地域の食と観光のPRや、管内を直接目的地とするためのプロモーション活動を実施するほか、台湾を重点としたインバウンド対策を図り、観光客を誘引する取組を進めています。

地域連携DMOの設立に向けた理解促進を図るため、有識者を招いたセミナーを開催したほか、台湾で開催された「北海道観光セミナー・商談会」に参加し、留萌地域のPRを行いました。

### ■「天売島におけるアザラシ対策事業」（地域経済に関連する取組）



春先（4月～6月）の天売島は、ゴマフアザラシの来遊とカレイ類の時期が重なり漁業被害が多数発生する一方、ウミガラスなどの希少な海鳥の繁殖期が重なるため、海鳥の繁殖に影響を与えない捕獲手法を試行する取組を行っています。

天売島の白磯地区で海鳥の繁殖に影響を与える装薬銃は使用せず、捕獲する際の音が小さいエアライフルを用いた捕獲を試行しました。また、捕獲網も一枚網から二枚網へと改良したことにより、捕獲効率が向上しました。

### ■「増毛山道推進事業」（その他）



増毛山道は、幕末期に浜益～増毛間に開削された山道ですが、戦後、利用者の減少で山中に埋もれていました。平成21年に復元事業が始まり平成28年10月全線27kmの再生が完了したことから、歴史遺産としての価値の周知と、利活用の促進を図るため、NPO法人増毛山道の会等と連携した取組を推進しています。

増毛中学校において山道学習会を実施したほか、「増毛山道と濃昼山道」が北海道遺産に選定されたことを記念した講演会を札幌市において開催しました。

### ■「るもいライフ体験促進事業」（地域経済に関連する取組）



留萌地域の知名度アップと体験移住の利用促進を図るため、地域の魅力を一体的に発信する取組を管内市町村と連携して行っています。

管内市町村の体験プログラムや体験移住用住宅などの情報をまとめたパンフレット「るもい管内移住ガイド」を配架したほか、首都圏での移住イベント等において、北海道への移住希望者を対象に地域の情報発信や移住相談会を実施するとともに、移住体験モニターを実施しました。

## 留萌振興局

### ■「西蝦夷 300 年新交流時代創造事業<step2>」(地域経済に関連する取組み)



観光マーケティング調査を行い、ターゲットの設定や課題の把握を行うほか、市町村と連携した観光プロモーションにより、誘客促進を図る取組を進めています。

携帯電話のGPS機能による位置情報等のビッグデータを活用して、留萌管内8市町村を訪れる観光客の行動データを収集・分析したほか、台湾の旅行会社等を招いたサイクルモニターツアーを実施し、旅行商品造成の検討を行いました。

## 宗谷総合振興局

### ■「宗谷地域医師・看護師確保対策事業」（安全・安心や地域づくりに関連する取組）



宗谷地域においては、医師偏在指標が全国の2次医療圏域で最下位であるなど、医師をはじめとした医療従事者が不足している状況です。宗谷地域で情熱をもって働く医師、看護師の姿や宗谷地域の医療の取組を積極的に情報発信することで、道外在住の医療従事者に対して宗谷で働く魅力を伝え、移住定住を促進し、宗谷地域における医師、看護師確保につなげることを目的として、本事業を展開しています。

宗谷管内の医療従事者に対する取材に基づき、HPによる情報発信及び看護学校や都市部へのパンフレット配布による情報発信を行いました。

### ■「地域版漁業就業支援フェアの開催」（地域経済に関連する取組）



漁業就業者の減少と高齢化の進行が著しい日本海地域における新規漁業就業者を確保し、地域の基幹産業である漁業生産活動を安定的に継続させるため、管内日本海沿岸区域の高校・大学を対象に地域版漁業就業支援フェアを、中学生を対象に実地研修を開催しました。

地元の漁業の魅力や市における支援体制、就業環境などについて具体的に説明することで、地元に住む若者の漁業への理解向上を図りました。

### ■「林業新規就業促進・担い手対策事業」（地域経済に関連する取組）



平成29年に「宗谷地域林業担い手確保推進協議会」を設立し、林業・木材産業の新規就業者の確保に向けた取組として、高校・大学生に対して林業・木材産業の仕事についてPRを行っています。

室内講義である「学校訪問」や高校の進路ガイダンスへのブース出展などを、それぞれの学校の要望に合わせて実施しました。「学校訪問」では、動画による林業・木材産業の説明に加え、実際に使われている道具に直接触れてもらうことで、林業・木材産業に対する理解を深めてもらう取組を行いました。

### ■「宗谷の「ショク×タビ」プロジェクト形成促進事業」（地域経済に関連する取組）



道内外からの観光客の誘客促進を図るため、宗谷地域の食と観光の企業間連携や販路拡大、特産品販売や観光PRなど、食と観光の一体的なプロモーションを継続的に取り組んでいます。

宗谷ブランドの磨き上げを目的としたセミナーや札幌と東京での「宗谷の『ショク×タビ』フェア」、札幌のホテルとタイアップした「宗谷フェア」を開催したほか、札幌や首都圏のバイヤーを対象とした商談会に参加し、知名度の向上と販路の開拓・拡大に取り組みました。

## 宗谷総合振興局

### ■「国境を越えた交流 海外との交流促進事業」(地域経済に関連する取組)



北海道とサハラ州との間で若い世代が両地域の歴史や文化、経済的な結びつきなどを再認識し、地域レベルでの交流を深化させるため、大学生をサハラ州へ派遣し学生同士の意見交換を行い、相互理解を深めることを目的とした事業を行っています。

令和元年9月6日から9月9日までの日程で稚内北星学園大学、北海道大学、北星学園大学から学生8名がサハラ国立総合大学等を訪問し、これからの地域間交流などについて意見交換を行いました。

### ■「宗谷の歴史・文化」魅力発信による観光地域づくり推進事業」(地域経済に関連する取組)



宗谷管内には、歴史的な遺産や文化などの貴重な地域資源がいくつも潜在しており、その魅力を道内外へPRするため、管内の自治体、観光事業者などと連携し、テーマ性やストーリー性を持たせた情報発信に取り組んでいます。

管内を訪れた観光客に再訪してもらえるよう、各地の観光スポットにおいて専門家同行のもと現地調査を実施し、新たな地域資源の発掘や観光コンテンツの磨き上げを行い、収集した情報をもとに、旅行商品の造成に向けた基礎資料となる素材集データを作成しました。

### ■「宗谷地域サイクルツーリズム推進事業」(地域経済に関連する取組)



宗谷の特色ある自然・気候の優位性をPRしつつ、「自転車」に乗りながらゆっくりと宗谷を楽しんでもらえるような仕組みづくりを検討するとともに、知る人ぞ知るロケーションポイントを入れ込み、希少価値の高いモデルルートを設定しています。

北海道サイクルツーリズム推進方針に基づき「きた北海道サイクルツーリズム連携会議」の設立と基幹ルートの設定を行いました。

### ■「宗谷地域若者就業支援事業」(地域経済に関連する取組)



宗谷管内では、高卒就職者の管内就職率は高いものの、大学等への進学者の多数が札幌市などの都市部へ流出し、その多くが都市部でそのまま就職する状況となっています。

こうした状況から、管内の高校生を対象とした企業展示会「てっぺん宗谷 de しごと発見フェア」を開催し、地元企業の魅力を伝えることで将来的な管内就職を促進しているほか、札幌圏や首都圏にいる大学生や社会人等に対し、管内企業の求人情報や宗谷地域情報を発信することにより、Uターン就職の促進を図りました。

## 宗谷総合振興局

### ■「宗谷家畜防疫体制確立連携事業 ～安心した酪農生産のために～」(安全・安心や地域づくりに関連する取組)



宗谷管内の農業は99%が酪農を主体としているため、家畜防疫の体制整備は重要な取り組みであり、万が一、家畜伝染病が発生した場合は、行政機関のみならず、農業関係機関や建設会社など広域的な連携が必要不可欠であることから、迅速かつ的確な防疫措置が講じられるよう実地演習を行い、防疫体制を強化する取り組みを行っています。

7月に78名が参加した消毒ポイント設置演習、9月に62名が参加した埋却実地演習を実施しました。

### ■「てっぺん宗谷へ！コラボDE移住担い手対策事業」(地域経済に関連する取組)



宗谷地域では、農業の担い手不足が深刻化しているため、地域や農業の魅力を道内外にPRして管内へ誘致するとともに、担い手育成のための研修会の開催、教育旅行生を呼び込むための構想及び受入体制整備にも取り組んでいます。

研修会は年間4回開催し、将来有望な農業者が研さんを積んでいます。また、広域受入協議会を中心に連絡調整を行い、今年度も約100名の教育旅行生を受け入れ、宗谷の酪農の魅力を感じてもらうための取組を行いました。

### ■「北海道宗谷地域と東京都港区との連携プロジェクト」事業」(地域経済に関連する取組)



北海道宗谷地域と東京都港区が互いの地域の特色を活かし、交流人口及び経済交流を拡大することを目的とした「北海道宗谷地域と東京都港区との連携プロジェクト」に参画しました。

連携プロジェクトでは、宗谷地域の情報発信や交流人口の拡大、将来的には二地域居住の促進を視野に、宗谷地域をPRするための体験イベント等を行う「宗谷イチ押しプロモーション」や「豊富温泉&利尻昆布風呂体験WEEK」等を開催しました。

### ■「若手の力で宗谷をかえる！「SOYA fresh☆network」事業」(地域経済に関連する取組)



若手世代の資質向上及び連携体制の構築を図り、宗谷地域を一層発展させることを目的として、宗谷管内の市町村及び団体・企業の若手職員が集まり、地域課題を共有し、その解決に向けて話し合う研修会を開催するなどの取り組みを行っています。

「宗谷での女子旅」をテーマとした研修会を開催し、46名の若手職員の方に参加いただきました。また、Facebookを活用し、宗谷の情報発信も行いました。

## 宗谷総合振興局

### ■「地域と共に魅力を発信！動画制作事業」（地域経済に関連する取組）



宗谷地域の知名度向上のために、平成30年度に宗谷総合振興局職員が動画制作を行ったノウハウを共有し、宗谷管内市町村の自治体職員による各自治体の魅力を発信する動画を制作する取組を行っています。制作にあたっては、包括連携協定を締結している、稚内北星学園大学にご協力いただいています。

猿払村と利尻町の役場職員や地域おこし協力隊により各自治体の魅力発信動画を制作し、新たなコンテンツとして管内外へ情報発信を行いました。

## オホーツク総合振興局

### ■「オールオホーツク来訪振興促進事業」(地域経済に関する取組)



オホーツク地域が有する食や観光などの豊かな地域資源を広く情報発信し、地域一体となった広域観光の推進の取組を進めています。

外国人観光客向けのパンフレットを作成し、女満別空港内で配布を行ったほか、管内自治体や関係者、道東4振興局と連携して大阪で開催されたツーリズムEXPOジャパンに参加しました。また、SNSを利用して、インフルエンサーによる管内観光情報の発信など観光プロモーションを実施しました。

### ■「オホーツク・スポーツブランド化推進事業」(地域経済に関連する取組)



スポーツ関係者の交流人口の拡大による地域経済の活性化を図るため、夏は冷涼で日照率の高いなどの優れた気候特性を活かしたスポーツ合宿の誘致について、管内市町村及び関係機関で構成する協議会において事業の検討を行っています。

市町村と協力して合宿参加チーム(5団体)のお出迎えを行いました。合宿参加チームからは、お出迎えがオホーツクのイメージアップやオホーツクでの合宿のリピートに役立っているとの声をいただきました。

### ■「知床自然遺産のインバウンド受入体制の底上げ事業」(地域経済に関連する取組)



知床世界自然遺産は外国人旅行者が増加しており受入体制を充実していく必要があるため、情報提供の英語化対応を進めるとともに地域一体の共通認識を醸成しています。

「北海道アドベンチャートラベル協議会」会長を講師に招き「北海道のアドベンチャートラベルの可能性を探る!」と題した講演会を開催し、関係機関が集まり知床の今後の可能性について学びました。また、知床で問題になっている野生動物への餌やりなどの注意喚起のための多言語化ステッカー配布しました。

### ■「オホーツク食の地域ブランド形成事業」(地域経済に関連する取組)



「オホーツク」のブランド力向上のため、地域資源を活かした多様な産品を道内外に発信しています。

10月には埼玉県・越谷市イオンレイクタウンで行われた「北海道フェア」に出展し、管内産品の試食販売をはじめ、観光との連携により、オホーツク地域のPRを実施しました。また、1月には札幌市内で「オホーツクフェア」を開催し、道央圏の方に、オホーツク地域の魅力を発信しました。

## オホーツク総合振興局

### ■「オホーツク産農畜産物高付加価値化推進事業」(地域経済に関連する取組)



オホーツク管内の菓子製造業者等と連携して、オホーツク産農畜産物を使ったスイーツを開発し、オホーツクの魅力を発信することで、オホーツクブランドの推進と地域産業の活性化に取り組んでいます。

地域関係者が主体となり、「オホーツクスイーツ推進協議会」を設立したほか、札幌で開催した「オホーツクフェア」や、道の駅で開催した「オホーツクスイーツフェア」において、PR活動を行いました。

### ■「オホーツク東部流域地域材活用見える化推進事業」(地域経済に関連する取組)



林業・木材産業が盛んなオホーツク東部流域において、地域関係者間で情報共有を進め、連携して「地材地消」に取り組むことを目的として、平成30年7月に「北見の地域材活用推進の会」を発足させました。

会では、構成員間での地域材活用のための会議を開催したほか、10月に一般住民や関係者を対象とした「地材地消見学会」を開催し、伐採現場、製材工場等を視察しました。今後も、地域材の重要性についてPRに取り組めます。

### ■「オホーツク型適正輪作確立事業」(地域経済に関連する取組)



広大な土地資源を活かした大規模な畑作が盛んなオホーツク管内において、オホーツク型の適正輪作体系を確立し、畑作及び酪農・畜産の持続的発展と農家経営の安定向上を図る取組を進めています。

畑作の輪作体系を改善するため、「輪作体系の見える化」を進め、その情報を関係機関と共有するとともに、適正輪作の確立に向けた検討会を開催しました。また、輪作体系に組み入れる作物について検証を行うため、管内の畑作農家の協力のもと、飼料用とうもろこしの試験栽培を行いました。

### ■「オホーツクICT農業活用支援事業」(地域経済に関連する取組)



オホーツク管内におけるICTを利用した農業用機械等の導入拡大と効果的な活用を進めるため、研究・普及・行政・農業団体が一体となって、ICT農業の効果的な推進に取り組んでいます。

「酪農・畜産」と「畑作」をテーマに「オホーツクスマート農業セミナー」を開催し、ICT導入の効果についての講演や導入事例の紹介のほか、展示ブースの設置による関連機器の紹介などを行いました。

## オホーツク総合振興局

### ■「オホーツクM a a S地域活性化推進事業」(地域経済に関連する取組)



鉄道・バス・航空・タクシーなど各交通モード間が連続したシームレスな交通サービスの確立による地域活性化の取組を推進しています。

夏休み期間に管内のバスが乗り放題となる「ちびっこフリーパス」を販売したほか、公共交通の利用等環境にやさしいエコな行動を呼びかける「オホーツク流氷トラスト運動強化月間」の一環で、JR網走駅でアローラロコンによる流氷物語号のお見送りを実施しました。また、バス事業者と連携しながら経路検索に必要なデータを整備し、管内の多くのバス路線がGoogle マップで検索できるようになりました。

### ■「みてさわってつかって！オホーツク産木製品認知度向上事業」(地域経済に関連する取組)



オホーツク管内は、一般消費者が手にとって使う木製品（割箸、スティック、経木など）の生産が残っている全国的にも数少ない地域です。

これらの木製品をPRするため、オホーツク産シラカバの森林認証材を使用した木製スプーンを制作し、イベントで地元高校生とコラボした物販による活用や、地元の観光施設等でのモニター利用を通じ、一般消費者や観光客向けにオホーツク産木製品及び地域のPRを行いました。利用者からは、「シラカバの木の香りがよい、ロゴがかわいい」などの感想があり好評でした。

### ■「オホーツクの未来に繋ぐ！「S y u N o h」推進事業」(地域経済に関連する取組)



オホーツク農業の持続的な発展には、新規就農者の安定的な確保が必要であり、特に、農村の集落機能やコミュニティの維持のためには、農外からの新規参入の一層拡大が必要であることから、新規参入者の受入拡大を図る取組を管内一体的に推進しています。

市町村、農協、農業団体、日本政策金融公庫等を構成員とした「オホーツク新規就農対策会議」設立による連携体制の開始、東京で開催された「マイナビ就農FEST」への出展、東京農業大学オホーツクキャンパスと連携したセミナー開催等の取組を実施しました。

### ■「オホーツク地域新規学卒者等地元就労・定着促進事業」(地域経済に関連する取組)



オホーツク地域における人手不足に対応するため、新規学卒者に対し、地元就労や職業観の醸成による離職防止及び職場定着を促進する取組を実施しています。

地元企業を広く知る機会として、北見市と紋別市において、管内の高校1～2年生を対象に、地元企業展示会（じもとごと発見フェア）を開催しました。また、地域の高校生が管内企業の職場を直接見学し、理解を深めることにより、若者の地元就労・定着意識の促進を図るため、管内企業見学会（バスツアー）を実施しました。

## オホーツク総合振興局

### ■「オホーツクイメージ形成・発信プロジェクト」(地域経済に関連する取組)



オホーツク地域の認知度向上とイメージアップを目的とした管内18市町村で組織する「オホーツクイメージ戦略推進委員会」と連携し、オホーツクイメージの形成を図るとともに地域の意識醸成や情報発信に取り組んでいます。

管内のイベント等に職員が参加してPRを行い、地元の意識醸成を図るとともに、その様子をSNSで発信しました。また、札幌市や首都圏、中部・近畿地方等のイベントにおいても、顔はめパネルやノベルティなど様々なツールを活用して積極的なPRと情報発信に取り組みました。

## 十勝総合振興局

### ■「バイオガス資源価値促進事業」(地域経済に関連する取組)



十勝管内に存在する豊富なバイオマス資源等を利用した再生可能エネルギー活用の取組を地域の住民に周知し理解を促すとともに、利活用の促進を図るための取組を実施しています。

十勝のバイオガスに関する取組に特化した「十勝バイオガス取組マップ～循環型環境農業に向けて～」の配布により普及・啓発を図りました。また、環境関連イベントでは、環境体験教室を開催したほかパネル展の実施や体験工作等を通じて、普及啓発活動を行いました。

### ■「バイオガス資源地域活用促進プロジェクト事業」(地域経済に関連する取組)



家畜ふん尿等を活用した「バイオガスプラント」で、エネルギー化する際に発生する「消化液」の効果的な利用方法について調査・検討を行っています。

耕種作物への消化液散布モデルの実証を管内で行い、試験品種の生育過程において有効性が確認できましたが、今後も継続して観測、利用方法を検討し、北海道農業を牽引する「十勝」から情報を発信できるよう取り組みます。

### ■「とちかち地域産業振興事業」(地域経済に関連する取組)



地域経済の活性化や交流人口の増加を目的に、百貨店などの物産展や各種イベントでの十勝産品や観光資源の売り込み、新たな地域資源（ワインアカデミー十勝の運営、航空宇宙産業の理解促進など）の利活用などの取組を進めています。

どさんこプラザ札幌店において、「とちかち“Food & Travel”フェア」を開催し十勝産品の販売と観光プロモーションを実施したほか、ワインアカデミー十勝の開催によるワイン振興や、管内外で十勝における航空宇宙に関する取組のPRを実施しました。

### ■「とちかち自然の魅力アップ観光推進事業」(地域経済に関連する取組)



百名山の一つであり、登山者に人気のあるトムラウシ山は、登山者が残していくし尿や、放置されたティッシュペーパーにより汚れています。このため、山岳環境問題に取り組み、魅力ある観光資源の提供による利用促進と観光振興を図っています。

携帯トイレブースの増設や携帯トイレの普及啓発を実施しました。また、携帯トイレの普及状況等を把握するためのアンケート調査や、残置された排泄物の清掃のほか、トイレ道の植生を復元する取組を実施しました。

## 十勝総合振興局

### ■「楽々スマート農業活用事業」(地域経済に関連する取組)



農村地域における労働力不足が深刻化している中、農作業の省力化のためのICT技術を初めとした、トラクターの自動化やロボット技術の導入により、女性農業者や他産業の労働者が気軽に農作業に従事できる環境づくりを支援しています。



先進地事例の視察や最新技術の管内での活用検討、女性農業者へのアシストスーツ体験会を実施しました。また、今後多様な分野からの雇用確保を見据え、雇用主の意識改革を図るため、管内農業者向けに人材育成コーチング研修を開催しました。

### ■「共生社会の実現に向けた多様な人材活躍推進事業」(安全・安心や地域づくりに関連する取組)



障がいのある方や子どもたちをはじめ、誰もが安心、安全に暮らせる「共生社会」の実現のため、「障がいのある方への理解促進」、「障がいのある方が暮らしやすい地域づくり」、「子ども食堂への理解促進」に取り組んでいます。



発達障がいの特性をわかりやすく説明した紙芝居の制作・上演、車いすファッションショーの開催、子ども食堂への理解促進に向けた有識者からのメッセージ紹介、フードドライブによる子ども食堂支援等の取組を行いました。

### ■「十勝アクティブシニア移住交流促進事業」(地域経済に関連する取組)



健康で活動的なシニア層(アクティブシニア)の十勝地域への中長期的な移住・交流を図るため、移住・交流促進に向け食や自然といった十勝の魅力を生かした取組みを展開し、「交流人口の拡大」と「シニア層の知見・経験を取り込んだ地域づくり」に取り組んでいます。



人材育成セミナーを開催し、学びを担う地域人材の育成を行いました。また、移住体験メニューを提案し、プロモーションを行うことで、受け入れ体制の充実ぶりをPRしました。

### ■「人口定着・育成事業」(安全・安心や地域づくりに関連する取組)



十勝地域における人口減少問題対策として、地域ニーズを具体的に把握し、今後の対応策について検討するとともに、流出傾向にある若手女性を中心として地域資源の掘り起こしや魅力あるまちづくりの手法について検討するなど、地方創生に向けた取組を促進しています。

現状の課題把握のため、管外の大学への聞き取り調査を実施し、学生の就職活動の現状や、十勝出身学生の動向などについて情報収集を行いました。また、「十勝人口減少問題対策検討会」において、今後の取組方向について報告書としてまとめました。

## 釧路総合振興局

### ■「輝ける北の大地で羽ばたく根釧酪農チャレンジ事業」(地域経済に関連する取組)



根釧地域は我が国最大の酪農地帯であり、事業者は地域で生産した生乳を使用したチーズやスイーツなど、乳製品の6次産業化を進めており、釧路・根室振興局では、根釧産牛乳乳製品の高付加価値化と消費拡大推進の取組などを実施しています。

札幌・大阪での乳製品PR等を行い、根釧の魅力を発信しました。今後も消費拡大に向けた取組を実施していきます。

### ■「道東くしろ誘客促進事業」(地域経済に関する取組)



くしろ地域では道東自動車道の延伸や、釧路一関西便就航の好影響を受け、観光入込客数が増加傾向にあるため、より多くの方々にくしろ地域を知ってもらい、訪れていただく取組を進めています。

SNSを活用したタイムリーな観光情報発信を行ったほか、管内自治体や関係団体、道東4振興局と連携し、道内外で観光プロモーションなどを行いました。

### ■「スポーツを通じた地域の魅力創出事業」(地域経済に関連する取組)



夏が涼しい気候を活かしたスポーツ合宿の誘致と、栄養豊かな地域食材をPRした地域の新たな魅力を創出するため、官民連携による地域の活性化に向けた取組を進めています。

公認スポーツ栄養士である釧路短期大学 山崎教授監修のもと開発した「くしろアスリート食」を普及させるため、道外から合宿に来た大学生と地元中学生との試食交流会やメニュー提供に向けた宿泊施設等向け相談会、レシピブックを用いての道内外の飲食店や釧路市民などへのPRを実施しました。

### ■「くしろ地域の新価値創造ネットワーク構築・推進事業」(地域経済に関連する取組)



地域で活躍する人材の育成や発掘をパッケージで支援するとともに、管外からの体験移住者を本格的な移住・定住につなげるため受入体制のネットワーク化や就業情報のトータル発信に取り組むことにより、長期滞在者の本格的な移住の推進を図っています。

企業、行政、まちづくり団体などの若手社会人への研修、地域課題解決に向けた高校生からの企画提案、長期滞在者向けの移住定住ミニサロンの実施等の取組を行いました。

## 釧路総合振興局

### ■「北海道くしろ地域・東京特別区交流推進事業」(地域経済に関連する取組)



くしろ地域では、管内8市町村と振興局、東京都荒川区が連携し、交流人口の拡大に向けた取組を行っています。

教育旅行誘致促進やヘルスツーリズム拡大を目的とした出前授業やセミナー等の開催、東京都内での物産展の開催、くしろ地域の食材を使ったメニューを東京都内で提供する「くしろフェア」の実施、東京都内の飲食店関係者を対象にくしろ地域の食材を使った試食会の実施などの取組を行いました。

### ■「オールくしろ魅力発信事業」(地域経済に関連する取組)



くしろ地域では、道東自動車道のくしろ延伸を契機に交流人口を拡大し地域の活性化を図るため、平成25年度に官民一体となった協議会を設置し、オールくしろ体制で地域の魅力発信に取り組んでいます。

道東自動車道工事現場見学イベントを実施したほか、釧路総合振興局ホームページで公開している「オールくしろドライブガイド」のリニューアル及び道東自動車道工事進捗状況の発信、「オールくしろドライブガイド」の内容を要約したパンフレットによるPRなどの取組を実施しました。

## 根室振興局

### ■「少子・高齢社会における子育て支援事業」（安全・安心や地域づくりに関連する取組）



地域が一体となって、安心して子育てできる環境を整え、子育て世帯の負担軽減を図ることを目的に、地域連携による子育て支援に取り組んでいます。

地域における催しの場を活用し、子育て支援に係る意識醸成を行ったほか、中標津町計根別地区で開始した子どもの一時預かりや親子サロン等は、町や団体への働きかけ等により、地域での取組として確立しました。また、他の地域での取組促進を図るため催し等を開催しました。

### ■「根室地域医療従事者確保事業」（安全・安心や地域づくりに関連する取組）



根室地域において、慢性的に不足している医療従事者を確保するため、地域医療を担う医療系学生などに地域の魅力を発信するとともに、関係機関の連携により、地域の受入体制の構築などに取り組んでいます。

根室地域の未来の看護職確保に向けて、看護職養成校への進学者を増加させるため、看護職に対する関心を高め、進学に関する情報を提供する場として、根室地域の高校生を対象とした合同進学説明会を開催しました。

### ■「輝ける北の大地で羽ばたく根釧酪農チャレンジング事業」（地域経済に関連する取組）



根釧地域は我が国最大の酪農地帯であり、事業者は地域で生産した生乳を使用したチーズやスイーツなど、乳製品の6次産業化を進めており、釧路・根室両振興局では、根釧産牛乳乳製品の高付加価値化と消費拡大推進のため、大都市圏等でのPR活動を実施しています。

10月に東京都庁で開催された「北海道・知床ねむろ食と観光フェア」に参加し、試食や商品説明を行うことで根釧の牛乳乳製品の魅力を発信しました。

今後も消費拡大に向けた取組を実施していきます。

### ■「ねむろ食の商品力強化事業」（地域経済に関連する取組）



根室地域で生産される商品の付加価値を向上させるために、専門家の知見を活用し、根室地域の食のブランド力を高め、販路拡大を図るほか、消費者向けイベントや商談会などの支援も行っています。

道内外のバイヤーやシェフなどの食の専門家を招へいし、直接アドバイスを受けることができる個別相談会・商談会を開催しました。また、東京都庁全国観光PRコーナーで、管内特産品の販売と観光のPRをする「北海道知床・ねむろ食と観光フェア」を開催しました。

## 根室振興局

### ■「ねむろ観光交流推進事業」(地域経済に関連する取組)



根室管内のフットパスの整備や普及などを目的としたフットパス・ロングトレイル広域化検討会を発展させた取組である「知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ」では釧路管内を含む、根室・釧路8市町の活動団体や行政が連携しながら、観光地づくり等を推進しています。

9月にはシーニックバイウェイ北海道の候補ルートに登録されたほか、フットパスのイベント開催や、ルートのオリジナルロゴマークやドライブマップの制作を行いました。

### ■「移住交流の促進に向けたねむろの魅力発信事業」(地域経済に関連する取組)



交流人口の拡大による「ねむろ地域の魅力」の向上や新たな地域活力創出のため、移住交流促進の取組を行っています。

移住希望者を管内に呼び込むため、ブログへの投稿や移住パンフレットの配布を行い、根室地域の魅力を発信しました。また、管内の地域おこし協力隊員の悩みや不安を解消することを目的に「釧路・根室管内地域おこし協力隊ミーティング」の開催や管内市町、関係機関との移住に関する情報共有・意見交換を目的に「移住・定住推進連絡協議会」を開催しました。

### ■「根室水産物ブランド化推進事業」(地域経済に関連する取組)



ロシア水域におけるさけ・ます流し網漁業が禁止されたことにより、代替漁業で漁獲されるサバ類・マイワシや、加工原料を国産原料へ転換したことに伴う新商品などのPRを行い、根室地域水産物のブランド化に取り組んでいます。

根室産マイワシ「根室七星」を首都圏の量販店で鮮魚販売、札幌市内で開催された「まるごと根室直送市」では、「根室七星」の加工品をサンプル配布するなど、根室産マイワシのPRを行いました。

### ■「北方領土モノがたり事業」(その他)



北方領土隣接地域として領土返還に向けた世論の機運醸成を図るため、北方領土問題に「触れる」「学ぶ」「知る」の3本を軸に、根室管内の魅力(自然・歴史・文化・食など)を活かし、観光と連携した北方領土問題の啓発活動を展開しています。

かつて国後島を渡るための要所であった野付通行屋跡遺跡を訪れる「北方領土遺産ツアー」の実施や、インターネットを活用し北方領土へのメッセージや管内の魅力ある写真の投稿を呼びかける「千島桜満開プロジェクト」による情報発信に取り組みました。

## 根室振興局

### ■「根室地域産エゾシカ肉の有効活用促進事業」(地域経済に関連する取組)



根室管内で捕獲されるエゾシカの肉を有効活用し、郷土食としての定着化や管内への観光入込客数等の増加に向けた取組を実施しています。

根室地域産エゾシカ肉の知名度向上や管内の流通促進、提供店舗の増加、共通素材の創作等を目的にした協議会を開催しました。また、北海道全調理師会中標津支部にも料理提供いただいでエゾシカ肉を使った料理の試食会を開催し、専門家の講演や料理人の実演、試食等地域を巻き込んだ取組を実施しました。

### ■「風蓮湖ヨシワラ再生実証試験事業」(地域経済に関連する取組)



風蓮湖はかつて 100t/年のヤマトシジミが漁獲されていましたが、流入河川の水質悪化や風蓮川河口域及びムニウス島におけるヨシ群落の後退・消失に伴う底質悪化・水質浄化機能の低下により、湖内のシジミ漁獲量は激減しており、この改善策として水質浄化を担うヨシ群落の復活が求められています。

取組初年度となる令和元年度は、次年度以降の調査の基礎として、調査の基準となる水準点の設置、ドローン空撮による風蓮川河口域におけるヨシの繁茂域の把握を行ないました。

### ■「地域とヒトを繋ぐシームレス交通活性化事業」(地域経済に関連する取組)



公共交通機関のスムーズな乗り継ぎなど移動の利便性向上について、地元自治体や関係者等と連携し、取り組んでいます。

10月にはイベントに合わせて観光タクシーモニターを募集し、台風により中止したものの、6組13人の申込みを受け、ニーズがあることが分かりました。また、グーグルマップなどでバス路線を検索できるようになるGTF Sの整備について、関係自治体に情報提供するなど、取組を進めています。

### ■「根室地域の防災対策の課題解決事業」(安全・安心や地域づくりに関連する取組)



平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震により北海道では大規模停電(ブラックアウト)が発生し、各市町において停電時の危機対策を早急に取り組む必要が生じたため、専門家を招いて防災力向上を図るセミナーを開催したほか、ハイブリッドカーやLPガスを燃料とする発電機を活用するデモンストレーションを実施し、非常時における多様な電源の確保や燃料備蓄といった課題の解決に向けた支援を行いました。

## 根室振興局

### ■「自然と食の魅力あふれるオール根室ブランド強化推進事業」(地域経済に関連する取組)



豊富な自然や食の資源を活かして、根室地域の域外からの交流人口の増加、観光産業の振興を図る取組を実施しています。

外国人観光客向けのガイド講習会や観光客を呼び込むためのプロモーションを道内、道外で実施したほか、管内1市4町と連携して、大阪・名古屋・東京で開催された教育旅行説明会・相談会への参加や、根室管内での教育旅行実施に関心のある学校を訪問し管内の魅力を伝えるなど教育旅行の誘致を行いました。

